

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	生田高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・学年制普通科
-----	--------	------------------	------------

1 学校のミッション

- 全日制的課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- リーダーシップと社会性を育み、社会の発展に貢献できる人材の育成をめざし、ICT機器等を活用した生徒の主体的な学習を促すとともに、習得から活用までの幅広い内容の学習に取り組めるよう教育活動を展開する。
- 自ら課題を発見しその解決のために他者と協働して学ぶ力を育み、生徒の主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした授業を実践することにより、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びを実現するための不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- ☆ 高い目標、文武両道・文理両道、自学自習、協働、ICTの相乗効果により、「不確実で複雑な時代」を生き抜く「主体的な意志のある自立した『個』」を育成する。
- 「習得・活用・探究」の学習プロセスにおいて、「情報活用による知識習得」の道筋を重視し、探究の基礎となる知識を身に付けさせ、活用力を育成する。
- 自らの力で「読み」「考え」「書く」ことで、科学的・論理的な思考力・判断力・表現力、問題発見・解決能力（探究力）、学力を育成する。
- 「全ての生徒は支援を必要としている」という「神奈川の支援教育」の原点に立脚し、あらゆる教育活動を「支援」として捉え、とりわけ教育相談における一次的援助サービスを充実させる。

3 計画策定時点での課題

- スマホ利活用時代に比して、PC利活用の頻度が低い。
- 「知識習得」即ち「講義」という固定観念は薄れたが、未だ払拭しきれてはいない。「情報（教科書等）活用による知識習得」という道筋による実践が不十分である。
- 「単元の目標」の意識が不十分である。
- 「本時の流れ（目標、問い、まとめ）」を明らかにする授業構造が持つ学習効果を生ききれていない状況が一部にある。
- 日常の会議に出される生徒情報をケース会議的に扱う取組は始まったばかりであり、充実させていかなければならない。
- 逸早く全教室に大型モニターを整備した関係で、短焦点プロジェクターへの移行が難しい。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ① アクティブ・ラーニングの視点とユニバーサルデザイン授業の視点により、ハイテンポで「力の付く授業」を構造化する。 ② 科学的・論理的な思考力・判断力・表現力、問題発見・解決能力（探究力）、自学力を育成する。 ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により能力を伸長させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「単元の目標」意識の明確化と徹底 ■ 「本時の流れ（目標、問い、まとめ）」の一元（ワークシート又は指示書）化 ② 情報活用による知識習得 ■ 自らの力で「読み」「考え」「書く」 ■ 「個→協働→個」の効果的活用 ③ 一人一台端末の活用
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 「全ての生徒は支援を必要としている」という「神奈川の支援教育」の原点に立脚し、あらゆる教育活動を「支援」の視点から充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒情報を扱う学年会議をケース会議的に運用し、当面の対応を確認する。 ● 個別生徒の支援に必要な学年外の職員との連携を密にする。 ● 教育相談における一次的援助サービスの充実を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ① あらゆる角度から能力を伸長させ、「不確実で複雑な時代」を生き抜く「主体的な意志のある自立した『個』」の基盤を育成する。 ② 能力伸長を当面の進路希望に結実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 高い目標、文武両道・文理両道、自学自習、協働、ICTの相乗効果により、能力を伸長させる。 ② 1年次からの家庭学習習慣定着指導、定期的な学習到達度チェック、学びに向かう態度チェック、フォロー面談
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者等、地域の方、学識経験者などの学校運営参画を促し、育てたい生徒像の共有と実現、学びの充実、資質・能力の育成を図り、社会に開かれた教育活動を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校運営協議会を積極的に運営する。 ● 持続可能なPTA活動を推進し、地域に開かれた教育活動に注力する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一台端末を有効活用するための施設・設備等の充実を図る。 ② 働き方改革を推進する。在校等時間の縮減にあたっては、全体の時間の効率化と個人の時間の効率化の両立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① タッチペン利用とペーパーレスを促進する ■ 大型モニターから短焦点プロジェクターへの移行を検討する。 ② ノー残業デー、振替ノー残業デーを徹底する。 ■ やわらかい段階での相談を徹底する。 ■ 丁寧な仕事を促しつつ、過剰に丁寧な仕事、無駄な仕事を廃する。